

第3回 Glider Club Meeting 打合せ結果のまとめ

第3回 Glider Club Meeting, Itakura : 2015年11月28~29日

2015年11月29日長期計画グループ作成

委員会（W/Gを含む）をベースに、以下の方針、目標の達成に取り組む

方針	大目標	担当委員会	テーマ：5年を目途	行動計画			
				1st step:1年目：Hop	2nd step：2-3年目：Step	3rd step：4-5年目：Jump	
2020年を目途に、国内滑空スポーツの発展と活性化を実現し、国際レベルの仕組みを作り上げる ・日本の恵まれた自然環境の下、安全で質の高い国際レベルのグライダー環境とパイロットを作り上げる。 ・多くの人にグライダースポーツを知ってもらい、経験してもらおう。	1. 重大事故ゼロの達成	安全	安全研修会の開催	指導者層対象	一般のパイロット対象 高齢パイロット対象	各クラブへの講師の派遣	
			事故予防研究とガイドライン整備	パイロットの高齢化対策 高リスクパイロット対策	同左 各クラブ曳航方法の調査	操縦指導内容の改善研究と提案 曳航ガイドラインの研究	
			協会・クラブ相互間連絡網整備	事故/安全対策速報の体制 各クラブに安全担当者の配置	クラブ間の情報交換	事故情報開示システムの導入	
			安全マニュアルの作成/改訂	作成/改訂作業	作成/改訂作業	マニュアルの完成	
	2. 滑空協会の機能向上	総務	協会人材の充実 (最重要項目)	人材と組織の充実	ボランティアスタッフの募集 (常務理事+ボランティア(以下V)) Vを中心とした各種委員会の立上 (上記1にも関連)と運営	コアスタッフ(以下C)の募集 (常務理事+常勤事務局長(C)+V) 委員会活動の活発化(C+V)	コアスタッフの拡充 (常務理事+事務局長+事務員+V)
				業務の充実	グライダー関連情報の収集	調整業務の充実	協会実務(管理と事業)の充実 ・補助金、スポンサーの獲得
				会員サービス業務の充実	申請業務の一部代行(様式統一、ルール化:60条、92条、無線選解任)	講習会、研修会の実施	情報提供
			クラブ加盟制・体協加盟等検討	クラブ加盟制の得失検討 クラブ加盟制の制度設計	クラブ加盟制への移行	体協等への加盟検討	
			クラブ間連携	穏やかなクラブ間連携 ・クラブミーティングの拡大 ・各委員会活動による連携	クラブ間連携の強化 ・連携イベント事業 ・若手育成連携事業	クラブ間相互支援	
			3. Pilotのレベルアップ	インストラクター	インストラクターの指導力向上	インストラクション/コーチングプログラムの改善研究 翻訳版 Instructor Manual の限定配付 日本版 Instructor Manual の作成着手	インストラクション/コーチングプログラムの強化 日本版 Instructor Manual の作成
	XC & 競技	Local から X-Country へ			X' C プログラムの提案、旋回点、O/L、推奨コース等のとりまとめ	X' C ステップアップ研修会の開催 OLCの各クラブでの実施	同左
		競技会の開催推進			競技講習会の開催 クラブ内競技会の開催	地域内、クラブ連携競技会の開催 海外トップパイロットの招聘・交流	日本選手権の開催
	4. 滑空人口の増加	総務	国際大会への参加推進	海外でのフライト奨励(情報提供)	国際大会への参加推進と支援	ジュニア選手：ユース派遣支援	
			ユース支援策(3. レベルアップと共同)	ユースパイロット育成検討	同左	ユース留学助成事業	
			学生の社会人クラブへの円滑移行策	競技会等での広報 学連との共同	同左	同左	
				広報活動(2. 滑空協会の機能向上と共同)	広報スタッフの募集 ・HP, JSA インフォの充実	グライダー愛好家への情報発信 社会一般への情報発信	社会一般への啓発普及

摘要)